



2009/10 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2231 回例会 2009 年 9 月 16 日(水) SAA/加藤会員 会報担当/三宅会員
例会場五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535



点鐘 市原 RC 会長 千葉精春 ソング 手に手をつないで

お客様 千葉港ロータリークラブ 高橋宏哲様

市原 RC 会長 千葉精春



会長挨拶先週は地区において二つの各クラブ対象の会議、国際奉仕部門委員長・社会奉仕委員長セミナーとロータリー広報・情報研究会です。前者は各委員長さんに出席して頂きました。後者は例年のロータリー情報研究会です。当クラブからは 9 名が出席されましたが重点対象者である 5 年未満の方は 3 名のみでした。

事前に二回ほどお願いしましたが私の至らなさを故、残念です。

当日は土屋亮平 P G により「決議 23-34」からロータリーを知ろうのタイトルにて基調講演がされました。土屋亮平 P G のしっかりした情報に基づいた理路整然としたお話、久しぶりに充実した時間を過ごしました。当クラブからの出席者が少なく後悔した次第です。皆さんそれぞれにおいていろいろな手段にて情報を仕入れているかと思います。ロータリーは 100 年の間にさまざまな理論構築がされ現在に至っております。特に日本においては、まさにこれこそロータリーがここまで発展してきた所以であるのは明らかです。ここ数年の会員減少、特に入会 3 年未満の退会者が多いと言われております。これは、ロータリー情報の提供・吸収があまりに無いために、ロータリーの意義が分からずロータリアンとしての価値が見出せない、まさにこれらが大きな要素であるのではないのでしょうか。私がロータリーに入会した頃は(10 年前)、あらゆる会議に出席したものです。皆さん、より一層、ロータリーを知ろうではありませんか。

さて、9 月のこの会場での例会は今日が最後です。四半期が終わります。そんな中、各委員会においては未だ委員会が開催されていません。私が把握しているのは 2 委員会だけが開催しております。例年当クラブにおいては、委員会が一度も開催されない委員会があります。開催されない方が多いのではないのでしょうか。このことは委員長の責任にせず、それぞれの委員会の委員の方々も委員会開催を進言する必要があるのではないのでしょうか。

45 年の歴史に甘んじることなく、より活力ある魅力的なクラブにするべく会員の皆さんすべてのお力が必要です。

今日は地区奉仕プロジェクト委員会 RYLA 委員会委員の津留会員に「新世代のための月間」にあたり卓話をいただきます。以前にも申しましたが、地区の組織図をあらためて見てください。

新世代のためのプロジェクトを担当する委員会が日本独自の「米山奨学会」を含めほぼ半分を占めています。

ロータリーは新世代育成に力を入れています。

どうか皆様、ご理解の程、お願いします。

幹事報告 幹事 泉水



1. 来週 9/23 は、休日のため休会。9/30-10/1 は東電研修旅行ですから、お間違いのないようお願いします。

2. 地区大会の登録料の件ですが、先日お伝えしましたように、地区大会は全員登録で、登録料 10,000 円(会員負担は 5,000 円)です。

10/7(水)より事務局が徴収いたしますので、よろしくお願いいたします。

地区大会 2 日目 10/25(日)全体会議・大懇親会の日ですが、食事は全会員分用意されています。交通手段として、クラブでは、バスをご用意しますので、バス利用希望の方は、事務局までお知らせください。また、車で行く予定の方は、駐車場のスペースの都合もありますので、同乗者の方も含めて、事務局まで、お知らせください。よろしくお願い致します。入会されて、まだ 1 度も地区大会に参加された事がない方もいらっしゃるようです。お忙しいとは思いますが、年 1 度の RI2790 地区の大会ですから、皆さんお誘い合わせの上、ぜひたくさんの方の参加をお願いします。

3.千葉港 RC 創立 25 周年記念式典のご案内

日時 平成 21 年 11 月 7 日(土) 登録受付 午後 5 時 登録料 10,000 円

(ア) 会場 京成ホテルミラマーレ 6F「ローズルーム」

(イ) 出席ご希望の方は事務局までご連絡ください。

4.ガバナー事務所より台湾台風災害義援金ならびに兵庫県西・北部豪雨災害義援金について、会員 1 名あたり 100 円の義援金を送金した旨報告がありました。

卓話 津留会員



市原 RC 卓話「新世代のための月間」にちなんで

皆さんこんにちは。

今月は、「新世代のための月間」です。

これは、年齢 30 歳までの若い人の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てるために、RI が指定するテーマです。

また、同時に「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を会報に掲示するよう推奨されておりますので今週の会報に掲載をお願いします。

RI の新世代育成に関するプログラムは、インターアクト・ローターアクト・ロータリー青少年指導者育成プログラム・青少年交換の 4 つを常設プログラムとしています。その内容を確認したいと思います。

*) インターアクトクラブ(International Action 国際的活動)は、'59 - '60 年度 RI 会長ハロルド・トマス氏が「ロータリーは、青少年奉仕を開発する力を十分に発揮していないのではないか」という思いを多くのロータリアンが抱いていることに気がつき、'60 年にこの問題を検討するために、5 名のロータリアンから成る委員会を発足させました。その 2 年後に米国フロリダ州メルボルンのメルボルン高校に 23 名の生徒が集まり最初のインターアクト・クラブが結成されました。インターアクトという言葉は「International Action 国際的活動」を意味しており、今日では世界の 109 余りの国や地域に 10,700 ものクラブを擁し会員数も 20 万人近くの若者がインターアクトとかかわりを持っています。入会資格は、高校生あるいは 14 歳から 18 歳までの若い人となっています。毎年少なくとも 2 つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち 1 つは国際理解と親善を推進するものとされています。今も世界各地で青少年がさまざまなインターアクト奉仕活動を通して国際理解と親睦の輪を広げています。当地区では 17 クラブ、219 人の高校生が活躍しています。

*) ローターアクトクラブは、'60 年代の初頭、世界各地のロータリー・クラブが社会奉仕プロジェクトとして大学レベルの青少年グループの提唱を始めました。'67 - '68 年度の RI 会長ルーサー・ホッジス氏と RI 理事会はこのクラブ活動に国際性があると考え、'68 にロータリーアクトはロータリー・クラブの公式プログラムとして承認されました。同年 3 月 13 日付で最初に承認されたクラブは、米国ノースカロライナ州のノースシャルロット・ローターアクト・クラブでした。41 年後 164 ヶ国・地域に広がり 7,741 のクラブを擁するまでになりました。178,000 名の会員が地域社会のニーズのために奉仕し友情や仕事の輪を広げ世界理解を深めようとしています。ローターアクトは、18 歳から 30 歳までの青年が対象になります。標語は「奉仕を通じての親睦」が採択されています。日本では 280 クラブが設立されています。

*) 青少年交換(Youth Exchange)は、1974 年に採択され 15 歳から 19 歳までの青少年に母国語以外の国を訪問させたり、留学したりする機会を提供する国際ロータリーの構成プログラムです。市原ロータリー・クラブでは、短期の交換学生プログラムを PJRC との間で実施しています。

*) ライラはロータリー青少年指導者養成プログラム Rotay Youth Leadership Award(RYLA)で、14 歳から 30 歳までの青少年を対象とする集中研修プログラムです。クラブ・複数のクラブ・地区もしくは多地区合同レベルでロータリアンが主催するセミナー、キャンプ、又はワークショップに参加し、通常 3 日から 10 日間を過ごします。参加ロータリー・クラブが費用の全額を負担することもしばしばあるようです。1971 年に RI により採択された RYLA プログラムは、楽しみながら友人を作り専門職務上の責任と人間関係の問題について討議し、指導力と伝達力を磨き、事業および会社の制度を学びロータリアンと知り合う機会を若い人に提供することを目的にしております。

1959年、オーストラリア、クイーンズランド州は、州の次世紀を祝うフェスティバルの計画に当たって、地元のロータリアンに援助を求めました。次世紀というのは、実はクイーンズランド州は1859年に隣のニューサウスウェールズから分離して成立したのです。したがってそれから100周年を記念すると同時に次世紀も祝うとなったわけです。1952年2月6日に女王に即位したエリザベス二世女王が、10歳年下の従妹で当時23歳のアレクサンドラ王女をこの祝賀行事に送る予定であることを知ったロータリアンは、王女と同年代のグループを対象とした活動を行う計画を立てました。アボリジニの言葉で「祭り」または「一緒に楽しむ」を意味するグンドゥー(gundoo)には、年齢17歳から23歳までの男女300人以上が参加し、大盛況に終わりました。大勢の青年を集めたこの行事の人気に勢いを得たロータリアンは、同じような若者を対象としたプログラムを年に一度行うというアイデアを思いつきました。当時の第260地区ガバナー、アート・ブランド氏は、二つ返事でこのプログラムを快諾し、こうして1960年5月2日、RYLAが誕生したのです。オーストラリアの第258地区と第260地区が共同で委員会を設立し、青少年(14歳～30歳)に研修を提供し、人格と指導力を磨き、自己開発を助け、良き市民としての資質を育成するというRYLAの正式な枠組みを練り上げました。この枠組みが指針となってRYLAはオーストラリア全土の広まり、さらに、1971年のシドニーRI国際大会でRI理事会により、国際プログラムとして正式に承認されるにいたりました。

日本での最初のRYLAは、1976年6月第366地区(大阪府と和歌山県)(現第2640地区・2660地区)主催で大阪府北端の能勢町にあります大阪府立青少年野外活動センターで「山のRYLA」を開催したのが始まりです。当地区では、1978年から開催されております。今年度第33回の開催は、昨年度と同様、東京芝にあります浄土宗大本山「増上寺」で行われます。来年2月6日・7日の一泊二日の研修です。昨年のセミナーテーマは「生きる」今年度は「絆～共に生きる」になっております。人は他人のことはよく見えますが、自分のことになると分かっているようでそうでもない。どこまで自分を理解しているかと思うと自信が多少揺らぐはずですが、宗教的環境で静かに自己に向かいあい、他者への思いを新たに「絆」について考えてもらうことが狙いになっていきます。「読経」「写経」「献灯式」「雅楽鑑賞」などの体験も前回は好評をいただいております。毎回セミナーに参加してくる青少年に聞くと「会社から言われてきました」という返事が多いのですが、セミナー終了時には「参加してよかった」「また機会があったら参加したい」という言葉にかわってきています。

セミナーの開催企画は、多くのマンパワーが必要になります。2005年3月11日～13日までロータリー100周年にちなんで神戸・大阪で「全日本RYLA大会およびRYLA ワークショップ」が神戸市と大阪市で行われました。その報告書の中に「今回、全日本RYLAを実施した結果、ロータリー組織と青少年育成の専門団体とのコラボレーションの一形態として、今後へ向けてのモデル事業として提供できるものではないかと自負するところです。」とセミナーの実質的な活動をした大阪府青少年活動財団の(ユースサービス大阪)の担当者は語っております。独自の活動ばかりにこだわらず、ここでいう青少年育成の専門団体と協力体制を取ることも一つの方法と思います。

ロータリアンは、青少年の模範となるように求められております。是非、新世代の育成に心を砕いていただきますようお願いいたします。

ニコニコ・ソーラー

千葉会長・泉水幹事

津留会員卓話ありがとうございました。地区における1年間の活躍ご祈念いたします。

津留会員

本日久しぶりに卓話をさせていただき有難うございました。

上條会員

板東33番巡礼を妻とワッ公一匹をつれて結願しました。

事故もなく終わりましたのも観世音菩薩のお守りのおかげと感謝しております。

白鳥会員

米山奨学生の名刺を作成していただきありがとうございました。

出席報告

前々回 80% 本日出席 35名 欠席 10名 本日出席率 77.8%